

今月選んだベストスリー 渡辺 保



■劇団6番シード「ラストシャフル」



TAMOTSU WATANABE



YOSHIHIRO EHARA

2004年11月号の雑誌テアトロでベストスリーに選ばれる。



■シアターコクーン「赤鬼ロンドンバージョ」(撮影=谷古宇正彦)



■黒林舎「津國女典」



【特集・この秋、制作者が行く!】

山崎菊雄/岡田 潔/高本佳英/平井佳子/白川浩司
山村友美/斎藤俊明/森 直子/井上 桂/小松克彦
紫雲幸一/総貫 薫/古元道広/小森明子/福島明夫

【述作】 水上勉さん みなもところろ

【BOOKS】 加納典美著「舞台衣裳の仕事」
鴻上尚史著「名セリフ」
菅井孝雄著「チェーホフ 日本への旅」
四方田犬彦著「吉田喜重の全体像」/斎藤信子

今月選んだベストスリー 渡辺 保

◆戯曲◆
真・似・禁
(マネキン)

佃 典彦

帰 郷

松田正隆



No. 756

2004年11月号の総合演劇雑誌テアトロで、野田秀樹氏と並んで、ベストスリーに選ばれた際の、演劇評論家渡辺保氏のコメント抜粋。

久間勝彦の「ラストシャフル」は、一人の資産家の老人をめぐる風俗劇だが、普通の風俗劇のそれとは違って、この戯曲には実に奇想天外な仕掛けがある。まだ見ていない人のために、その謎をあかすことは出来ないが、私は大詰めに至って仰天した。この仕掛けが現代人の生活を描いたドラマに深みと立体感を与えている。平凡で現実的な家庭劇が何重もの顔に見えるのは、この作家のウデである。